



四日市市立西朝明中学校 学校通信

# にしあさけ



令和8年4月8日

第1号 発行：校長

## 令和8年度がスタートしました！

4月に入って暖かな日が多くなり、校庭の桜は皆さんの進級・入学を祝福するかのように満開となっています。4月7日（火）には、令和8年度の始業式、入学式が行われました。今年度は112名の新入生を迎えて、全校生徒329名でスタートしました。

入学式では私（校長）から次のこととお話しました。

### 入学式 校長式辞（一部抜粋）

新入生のみなさん、今日からみなさんは西朝明中学校の生徒となりました。みなさんの心の中は、新しく始まる中学校生活への期待でいっぱいのことと思います。でも中には、中学校ってどんなところだろう、先生は怖いかな、先輩は厳しいかななどと、ちょっぴり不安のある人がいるかもしれません。そこで大切なことが「あいさつ」です。



あいさつは人と人との関わりあい、コミュニケーションの基本です。「私はここにいますよ」「あなたがそこにいることを私は知っていますよ」という合図を交換し合っているのです。つまり、あいさつはお互いの存在を認め合うことです。だから、あいさつをすると気持ちがよくなるのではないのでしょうか。ほっとした気持ちになるのではないのでしょうか。これまでできていた人はこれまで通り、そうでなかった人は今この瞬間から、「あいさつ」を大切にしてください。

さて、入学にあたって私から皆さんに、西朝明中学校が大切にしている三つの言葉についてお話ししたいと思います。それは、「愛(あい)」「誠(まこと)」「心(こころ)」です。

まずは「愛」。「愛」とは、決して特別なことではありません。「大切にする」ということです。自分自身の個性を愛し、大切にする。隣にいる友だちの存在を大切にする。私たちが使う校舎や道具を大切にする。この学校を、お互いを思いやる「愛」に溢れた場所にしていきましょう。

次は「誠」。「誠」という字は、「言ったことを成し遂げる」と書きます。嘘をつかない。決めたルールを守る。任された役割を最後までやり抜く。こうした「誠実さ」の積み重ねが、一生の財産になる「信頼」を作ります。

最後は「心」。中学校は、勉強だけでなく「心」を育てる場所です。自分の感情に正直になる。相手の痛みを想像してみる。美しいものを見て「きれいだ」と感動する。そんな心の動きを大切にしてください。心が豊かな人は、周りの人も自分も幸せにできます。

西朝明中学校では、毎日の学習や活動はもちろんのこと、体育祭や文化祭などの行事を通して、皆さんがこれらの力を身に付けられるよう工夫しています。しっかり学習や活動、行事に取り組んでほしいと思います。

しかし、これからの中学校生活で人間関係など、様々なことに悩むことがあるかもしれません。困難に立ち向かうこと、それも勉強ですが、自分ひとりでは解決できそうにないときは、家族、友達、そして先生に相談してください。一人では難しいことも、周りの手助けを借りることで解決できることがたくさんあります。

繰り返します。「あいさつ」を大切に、「愛・誠・心」の三つの言葉を胸に学校生活を送ってください。皆さんのこれからの成長を、先生たちは全力で応援しています。



## 新年度のごあいさつ

前任の諸岡校長より引き継ぎ、今年度、本校の校長として着任いたしました中井克実でございます。また、今年度、私を含めて新しく12名の教職員が着任いたしました。私にとって西朝明中学校は、以前に理科教諭として勤務していた学校です。今回の異動に当たり、とても懐かしさを感じています。

私たち教職員一同、日頃から本校の教育を温かく支えていただいている保護者、地域の皆様方の思いを大切にしながら、学校経営・運営を進めてまいりたいと考えています。微力ではありますが、子どもたちが、本校の生徒として誇りを持てるよう学校教育を進めていく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

四日市市立西朝明中学校 校長 中井 克実